

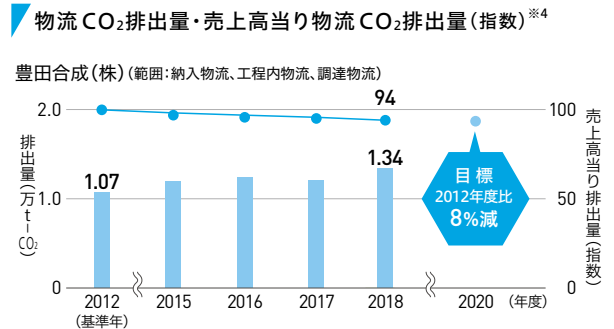
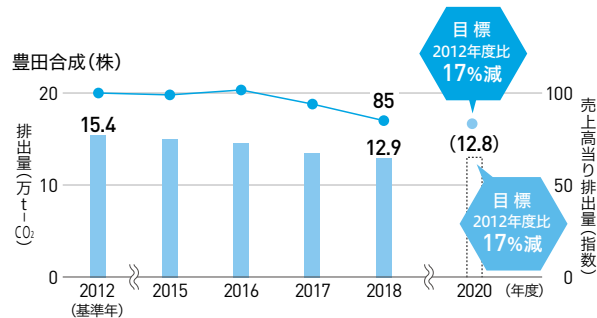
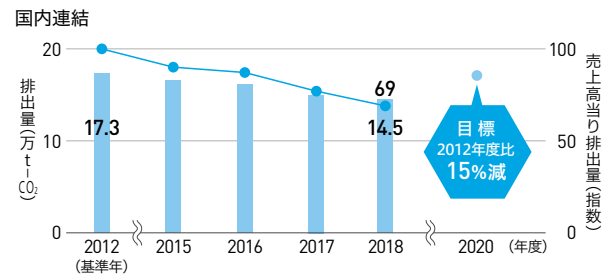
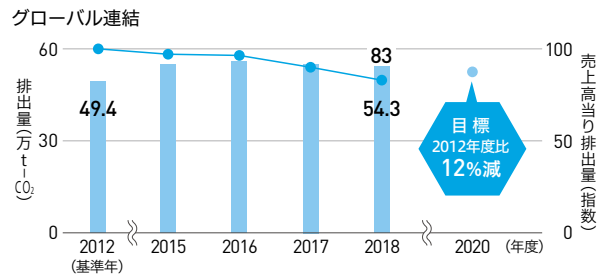


●再生可能エネルギー

クリーンなエネルギーである太陽光発電、風力発電の設置、グリーン電力の購入など、再生可能エネルギーを2020年度までにグローバル全電力の2%相当を目標に導

入を進めていきます。また、次なるチャレンジ目標として、2030年度までにグローバル連結で20%以上を目指して拡大を進めていきます。

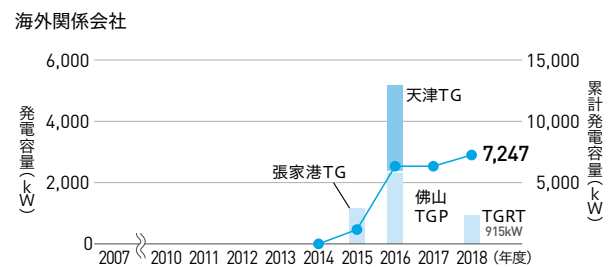
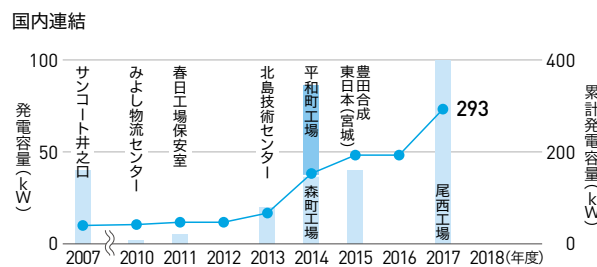
CO<sub>2</sub>排出量・売上高当りCO<sub>2</sub>排出量(指数)<sup>※4</sup>



※4 売上高当りCO<sub>2</sub>排出量(指数)は基準年を100とした場合の数値  
【CO<sub>2</sub>換算係数について】  
国内のCO<sub>2</sub>換算係数<sup>※5</sup>は、1990年の経団連係数を使用しています。  
また、海外のCO<sub>2</sub>換算係数は、GHGプロトコル(2001年)を使用しています。

※5 電力:0.37070t-CO<sub>2</sub>/MWh、A重油:2.69577t-CO<sub>2</sub>/kL、  
LPG:3.00397t-CO<sub>2</sub>/t、都市ガス:2.15701t-CO<sub>2</sub>/千Nm<sup>3</sup>、  
灯油:2.53155t-CO<sub>2</sub>/kL、LNG:2.68682t-CO<sub>2</sub>/t、  
ガソリン:2.36063t-CO<sub>2</sub>/kL(ガス会社の都市ガス発熱量変更の外部要因を除く)

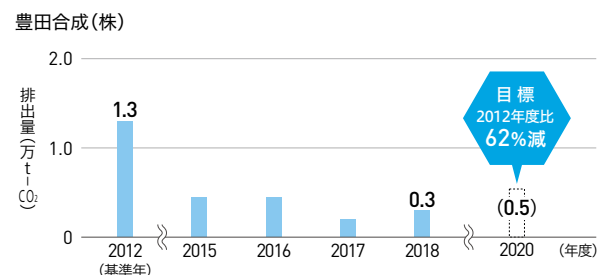
太陽光発電の導入(ソーラーパネル付きの外灯などスタンドアロン方式のものは除いています)



温室効果ガス(6ガス)<sup>※6</sup> 排出量の低減

6種類の温室効果ガスのうち、当社で使用している3つのガス(HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)について低減活動を行っています。ハンドル芯金の生産に使うシールドガスなどは、いずれも環境負荷の低い代替ガスへの切り替えを2015年度までに完了しました。その結果、温室効果ガスを2012年度比で74%低減しました。今後も低減活動に取り組んでいきます。

温室効果ガス(6ガス)排出量(CO<sub>2</sub>換算)



※6 ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、亜酸化窒素(N<sub>2</sub>O)、三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)